

各 位

会 社 名 : 株式会社夢真ホールディングス
 (コード : 2362 JASDAQ)
 代 表 者 名 : 代表取締役社長 佐藤 大央
 問 い 合 せ 先 : 執行役員 管理本部長 清水 義典
 (T E L : 03-3210-1212)

2016年9月期 第2四半期 連結決算概況について

1. ハイライト

- ① 建築技術者派遣事業にて、売上高 20 四半期連続 2 ケタ増収
- ② 建築技術者派遣およびエンジニア派遣事業ともに採用人数が堅調に推移
- ③ 建築技術者派遣事業にて、売上総利益率が順調に回復

2. 経営成績

① 連結 (百万円)

	2015年9月期 第2四半期	2016年9月期 第2四半期	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	10,955	11,195	+240	+2.2%
営業利益	1,271	1,211	△59	△4.7%
経常利益	1,435	1,238	△196	△13.7%
四半期純利益	807	831	+24	+3.0%

② 建築技術者派遣事業 (百万円)

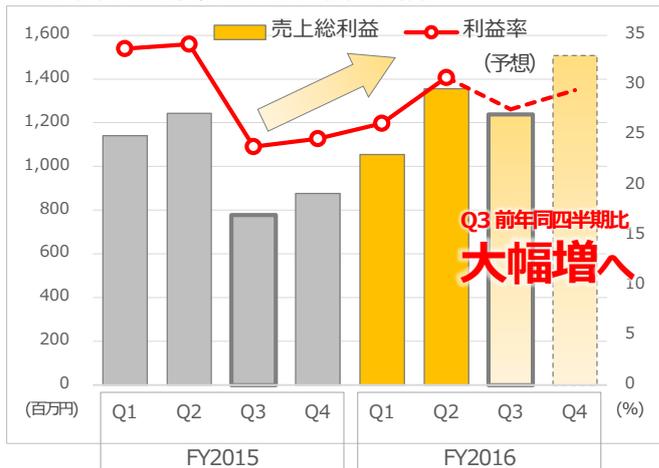
	2015年9月期 第2四半期	2016年9月期 第2四半期	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	7,034	8,425	+1,391	+19.8%
営業利益	1,291	1,068	△223	△17.3%
期末技術者数	2,446 人	2,943 人	+497 人	+20.3%
期中平均技術者数	2,360 人	2,909 人	+549 人	+23.3%

3. サマリー

① 売上高 積極採用による稼働人数の増加により建築技術者派遣事業が 20%増収、エンジニア派遣事業も 22%の増収となりました。連結売上高では、前期に子育て支援、介護および総合建設事業あわせて 1,662 百万円を計上していましたが、当期では建築技術者派遣およびエンジニア派遣事業の増収により、その差額分をカバーし、連結でも 2%の増収となりました。

② 営業利益 建築技術者派遣事業にて、前第 3 四半期に実施しました稼働率を最優先とした価格戦略による影響が軽微に残っており、売上総利益率が前年同期比 5pt.低下したことに加え、採用費が増加したことにより 17%の減益となりました。またエンジニア派遣事業でも採用費の増加から 14%の減益となりました。その結果、連結営業利益は 5%の減益となっております。

■ 建築技術者派遣事業における売上総利益の推移



～下半期について～

派遣単価の回復による売上総利益率の改善は下半期も継続。第 3 四半期 (4~6 月) は建設業界の端境期にあたるため、第 2 四半期と比較し微減する計画だが、前年同四半期比では大きく改善予定。(左グラフ参照。)

また採用に関しましては、目標である 2,000 人に向け、5 月以降毎月 200 人ペースでの採用を計画しております。